会社名：　株式会社　槌谷（つちや）　ものの生産者

【会社概要】

本　社：岐阜県大垣市俵町 39
創　業：宝暦５年（1775 年）
設　立：昭和 14 年
資本金：5,000 万円
年　商：12 億 6,000 万円（平成 27 年度）
従業員：155 名（正社員 60 名
　　パートアルバイト 95 名）
代表者：代表取締役社長　槌谷祐哉

【事業内容】

株式会社槌谷の定番商品
「柿羊羹（かきようかん）」

〇菓子の製造販売：（直営店舗７店舗、テナント
　　５店舗）
〇営業種目：銘菓、和菓子、洋菓子、喫茶
〇喫茶店　：２店舗
〇雑貨店　：４店舗（女性向けの鞄や靴を販売）

【商品へのこだわり】

〇「自然味」にこだわりをもって
　柿羊羹を代表されるように、株式会社槌谷では素材の味を生かした商品を製作している。添加物を極力商品に入れないことにこだわりを持っており、年間約 200 種類の商品を製作している。

〇岐阜の柿を大切に
　自社で柿の木を約 1,000 本保有し、岐阜の柿を商品に使用している。西濃地域の契約農家からも柿を仕入れ、年間約 30ｔの柿を自社工場で加工し菓子にしている。
　契約農家の柿の木は、７代目社長が戦後に苗を配布した。自然味ある柿の安定した仕入れのためである。菓子作りだけでなく素材作りもしており、半農半菓子の事業であるともいえる。

【地域社会への取り組み】

〇地元を商品に
　地元のお客様を知る、お客様が住んでいる街を知ることが地域貢献につながる。株式会社槌谷の定番商品である「おゝ垣」。地元の名所、大垣城の自然石を積み上げた「野面積み（のづらづみ）」の石垣をモチーフにしたお菓子である。

〇おむすび博プロジェクト
　毎年 10 月～11 月にかけて大垣市で行われる、「体験を通した学びをの場を作り、新たな地域の魅力を再発掘すること」を目的としたおむすび博を開催している。

【経営信条】

おいしく美しいお菓子をつくろう

自然で純粋なお菓子をつくろう

真心を添えてお売りしよう

【商品開発の考え方】

水の都 大垣をモチーフにした
「みずのいろ」
メディアの取材を通して
多数の芸能人も来客する

〇経営環境の特徴
　お客様の７割は地元岐阜県の方であり、飽きない新商品を開発していくことが求められ、さらに、お客様も味の嗜好は年々変化し続けている。

〇ぶれたお菓子はつくらない
　全ての人をターゲットにはできない。何をつくるかではなく、社内で“良いお菓子の基準（商品コンセプト）”を明確に確立し、どのようにお客様へ伝えていくかを第一にする。

〇常にお菓子のことを考える
　日常生活でどのような時もお菓子のことは頭から離れない。知識やアイデアを組み合わせて試行錯誤しながら１つの商品が生まれる。

【今後の事業展開】

〇地元に根ざして
　岐阜県の文化を掘り下げて、地域に密着し歴史に残っていくような商品を生み出す。

〇世にないお菓子を作り出す
　お菓子の形はまだ進化し続ける。科学技術の進歩にお菓子も対応させ、今までに見たことがない、驚きや感動あるお菓子を世に送り出す。

〇岐阜の柿を世界へ
　岐阜の柿を干し柿にして、世界で人気のあるドライフルーツとして世界に発信する。岐阜の柿は世界一。世界で一番の干し柿を海外市場で販売することを計画中。

【社長様からのメッセージ】

〇感動ある生活を大切に
　私は“感動”というテーマを常に抱きながら生活しています。現在の仕事も、お菓子を通してお客様に感動を提供する商売であると考えています。

〇商売の本質は感動にあり
　感動を多く経験した者にしか、人に感動を与えられないと思っています。高校生の皆さんには「心から〇〇と思えること」をできるだけ多く経験し、感情の変化のある幸せを感じてください。嬉しい、楽しいだけでなく、悔しい、悲しいといった感情全てです。何事もチャレンジすることが感動を生みます。失敗することを恐れずに何事にもチャレンジしてください。